

# nicochanism

ニコチャニズム

ステキな医療や福祉を  
お伝えしていきます。

04

2017  
08.15

認定NPO法人  
ニコちゃんの会



talk session

けっこう楽しいこの仕事

障がいのある方への介護の仕事のあれこれ。



## contents.

- 障がいのある方への介護の仕事のあれこれ。 … 03
- ケアコミュニティハウスプロジェクト 進行状況 … 08
- ニコゼミ 1年間のふりかえりのページ … 11
- すごい演劇の変遷 … 13
- たかしとオーロラいくっ隊！ … 15
- ジギョウイチラン -平成28年度(第5期)事業一覧- … 16
- ご支援のお願い … 21

平成28年度でニコちゃんの会も5期目を  
終え、今年度で6期目を迎えることとな  
りました。  
5期目である昨年度は、演劇とニコゼミ  
が強く印象に残っております。  
演劇は、横浜公演に始まり、大阪、奈良、  
そして最後に福岡にて凱旋公演とさせて  
いただきました。  
ニコゼミは、障がいのある方に関するこ  
とを学んだり、お会いする機会をつくつ  
たり、そして今年の5月に展示イベント  
を開催するにまで至りました。  
昨年度も、多くの方が、さまざまな人と  
出逢う1年になったのではないかと思  
います。  
少しずつではありますが、着実に歩を進  
めているケアコミュニティハウスプロ  
ジェクトも含め、今年度も魅力あふれる  
活動をみなさまにお届けしたいと思っ  
ております。

NPO法人ニコちゃんの会  
代表理事 森山淳子



左から  
池田万由未 (NPO 法人ニコちゃんの会)  
福島康文 (NPO 法人エスタスカーサ)  
樺昌平 (株式会社きらきら)  
和田谷吏絵 (NPO 法人エスタスカーサ)  
吉武聡 (NPO 法人まる)

talk session

けっこう楽しいこの仕事

# 障がいのある方への 介護の仕事の あれこれ。

介護の仕事の魅力とは？  
今回は障がいのある方の介護の仕事に  
5年以上携わっていらっしゃる方に、  
あれやこれやお話していただきました。

## 始めたきっかけ

**山田** 先ずみなさんが今の仕事に就いたきっかけについてお聞きしたいのですが、今の会社が初めてなんですか？まず和田谷さんからお願いします。

**和田谷** 私は、以前保育士をしていました。最後に受け持ったクラスが2歳児のクラスだったんですが、その中に脳性麻痺の子がいて、体のことがわからなかったんです。結局その子に1年間何も教えてあげられなかったというのがずっとひっかかってました。それが転機になってヘルパーの資格をとりに行ったんです。その流れでエスタスカーサにご縁ができて、お世話になることになりました。

**福島** 僕は、和田谷さんよりも前にエスタスカーサに入社しました。もともとは関西にいたんだけど、福岡に帰ってきて何か仕事しないといけないなって、それでヘルパーの資格をとって、その時の実習先が今の会社だったんです。

**福島** いや。その時は何となくだったね。  
**池田** 何となくだったんです。少し意外でした。  
**山田** 僕も最初に聞いた時は意外だなと思いましたよ。他の方はどうだったんですか？  
**樺** 僕は、高校生の時にボランティアで福祉関係の募金をして、初めて脳性麻痺の方に出会ったんですが、普通に会話されていて、「なんだ普通のおっさんじゃん」って思ったのが「障がい」とか「福祉」に興味を抱いたきっかけでした。それから大学で勉強してみたいなと思っ、大学に進学しました。卒業してさらに入社したんです。それからもう10年になりましたね。

## 本人と家族と

### 介護士の三角関係

**山田** 5年以上働いていると悩ましいとか、難しいと思われることも出てくると思うんですが、そういった経験はありますか？

**池田** 介護士って障がいのあるご本人だけでなく、ご家族とも距離が近いんですよね。たまに、そのご本人とご家族の意見が少し違っているように感じることもあるんです。その間に挟まれてどうしたらいいんだろうと思うことがあります。そういうところで気持ちが揺れ動いているんです。そんなことありませんか？

**福島** そんな風に思っていた頃もありましたね。  
**池田** もう乗り越えたってことですか？

**福島** 乗り越えたと言えるかはわからないけど、ご家族も彼らを取り巻く環境のひとつだと思っようになりました。もちろんヘルパーさんと同じだとは思っ



**樺昌平**  
ゆずりはしょうへい  
33歳  
株式会社きらきら  
訪問ヘルパー、通所施設  
勤続年数 10年



**和田谷吏絵**  
わたたりにえ  
32歳  
NPO 法人エスタスカーサ  
訪問ヘルパー、短期入所  
勤続年数 5年



**福島康文**  
ふくしまやすたけ  
36歳  
NPO 法人エスタスカーサ  
訪問ヘルパー、短期入所  
勤続年数 10年



(笑)。  
**福島** でも、それも、3年くらい時間がかかってからやっと信用されたかな?と思うようになりまし。訪問の介護は、ご自宅に行く訳ですし、家族の方とも距離がとて近いですし。まるは、通所施設だから自由にいろんなことを進められたりするんですか?  
**吉武** そうですね。通所ですから、訪問よりもいろいろ進めやすいのかもしれないね。  
**池田** 送迎でご家庭に行く時くらいですか?ご家族の方と会うのは。  
**吉武** そうですね。送迎の時くらいしかありませんね。以前は、何の用事もなくても電話してご家族の方と世間話をしていたこともあったようです。  
**池田** 通所は訪問に比べると圧倒的にかわっている方と一緒に過ごす時間が長いですよ。さらに皆さんも通所もされてますよね?どう思われます?  
**樫** そうですね。ご利用者さんのニーズとご家族のニーズが必ずしも一致するわけではないんじゃないかと思えます。本人の

本音をちゃんと聞き出すことができればそれが一番だとは思いますが、発語が難しい方などは、うまく聞けないことも多いと思います。それに、障がいのある方とご家族って距離が近く感じるの、家族の方の意見に影響を受けることがあたり前の感覚だったりするんだと思ったり。それでも、「本当のところどうなの?」っていうのは知りたいと思えますね。あと、多くはないんですが、ご家族のニーズとスタッフの意見が合わなかった時にどちらを優先するのかでみんな悩んだことはあります。真正面からぶつかることは少ないんですが、日々の支援の中で小さいながらもそういったことが出てくることはありますよね。どのようにご家族に提案のご相談をするか、福島さんが先ほど言われたようにうまく伝えるための努力と工夫は大事だと思います。  
**池田** 難しいですけど、きちんとお伝えしたいですよ。やっぱりその時間を楽しい時間にしてほしいですね。  
 仕事ですからね。僕もやりがいには思っていることがあるんですが、障がいのある方の生活って、刺激があまり多くないんじゃないかと思うんですよね。思春期の頃とか流行に敏感で学校とかからたくさん刺激を受けてくるんじゃないですか。ファッションとか、誰がかわいいとか。家庭の中だけではどうしてもそういった刺激が少ないと思うので、雑誌とかを買っていったりするところもあるんですよ。自分がその年齢の時に当たり前にやってたことをやってみてもいいんじゃないかと思ったりはします。それで何か変化があると嬉しいですよ。今かわっている方は、なかなか好きな服装が見つからず日々一緒にファッション誌あさりをしていくところですよ。  
**樫** 訪問ヘルパー3年目の時に、事故で頸椎損傷された30歳の男性がいらっしやったんですが、事故の後、一歩も家を出ていない状態が続いていたんです。訪問看護師さんが、同年代の人だったら何がかわるかもしれないと思われて、僕たち

### でもやっぱり楽しいこの仕事

**山田** 最後にこの仕事の魅力をお聞きできればと思います。この仕事にしかない楽しみや魅力って何だと思いますか?  
**吉武** 僕は、障がいのある方が家ではできないことをまるで充実していききたいという想いでやっています。絵画や木工、陶芸などのアーティストとしての活動をしている場なので、やはり仕事として確立していかないといけないですね。そして、収入に繋がってほしいんです。そのために何ができるかを考えているのが原動力なのかもしれないですね。  
**山田** 仕事になることかどうかっていうのはとても大きな問題ですよ。  
**吉武** そうですね。今は、十分に給料を払っている施設は多くはないと思います。作り方や売り方を考えないといけないですね。あと、嬉しいと思うのは、まるのメンバー(まるで)がご利用者さんにかかっていたときも、初めて契約しにお伺いした時も、全く目が合わない。会話が続きません。そんな状態で入浴介助からかわらせていただくことになったんです。当時は全員で5、6名が担当スタッフとしてかわらせていただいていた。2、3年は、静かな時間が続いていいたんですが、ひよんなことから若いスタッフがゲームの話をしたんです。そうしたら、実はその方もそのゲームが大好きで、それが共通の話題になったんですよ。仕事と関係なく遊ぶようになって、あれだけ外に出なかつたのに居酒屋に一緒に行ったりするようにもなりました。ゲームがきっかけになった訳ですが、前を向いてもらえたような気がしてとても嬉しかったです。  
**吉武** 通所も家庭から離れることができるので良い刺激になっていると思います。ただ、たくさん人がいるので1対1で込み入った話ってしにくいんですよ。でも、トイレに行った時は1対1になれるんです。そういう時に、いろいろ深い話ができ

**池田万由未**  
 いけだまゆみ  
 31歳  
 NPO法人ニコちゃんの会  
 訪問ヘルパー  
 勤続年数 5年



**吉武聡**  
 よしたけさとし  
 29歳  
 NPO法人まる  
 通所施設(作業所)  
 勤続年数 6年





たりすると心を開いてくれる  
らと思えて嬉しいですね。将来  
のこととか、どうやってら彼女  
ができるのか、とか。2人でな  
いと話せないことってたくさん  
あると思うんですよ。

**福島** それは僕も感じます。今  
僕も訪問させていただいている  
方が同年代の方が多いんですけ  
ど、なんだかんだでもう10年  
らしいの付き合いになる方も多  
いんですよ。同じ家に10年も毎  
週通う職業ってないんじゃない  
ですか？週に3回も一緒に時間  
を過ごす利用者さん多いらっ  
しゃるんですよ。それを10年  
も…と考えるとすごいなって思  
います。

**樺** そうですよ。自分は、訪  
問を担当したのは最初の2、3  
年くらいだったので、ずっと長  
くはかわることはできなかった  
んですけど、今通所の担当に  
なって、昔かかわっていた方が  
来られることがあるんです。何  
年も経ってお会いすると、「こん  
なこともできるようになった」、  
とか「こんなに大きくなった」、  
とか「大人な雰囲気になった」  
とかとても成長を感じるんで

す。ちょうど先日、とても小  
さい時にかかわっていた子が高  
校生になってうちの施設に來ら  
れたんですよ。昔の面影を残  
しつつも、すっかり大人になっ  
てました。なんというか、感動  
しますよね。

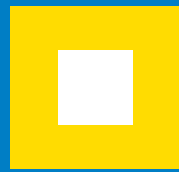
**山田** そうやって長く付き合っ  
ていけると良いですよ。自分  
が老眼になった頃にこの子はど  
う成長してるんだろう？とか。  
**福島** 本人はもちろんだけど、  
親御さんや兄弟も、おじいちゃ  
んやおばあちゃんもかわるこ  
とがあるんですよ。家族では  
ないけれど、ずっとそばにい  
るってすごいことだと思うん  
ですよ。

**池田** 確かに！この仕事ならで  
はすね。  
**福島** それに、同じ年くらいの  
利用者さんたちがこれからど  
んな風に生きていくんだろうな  
って思うんですよ。この職業も  
そんなに確立された職業ではな  
いから、僕もこの先生きてい  
けるのかなって思います。これ  
から先、お金を稼げなかったり、  
何かするのに人の手を借りる必  
要があったり、たくさん困る事

があると思います。でも、それ  
は、障がいがある人に限ったこ  
とではなくて、障がい以外の  
様々な状況の人もいると思うん  
です。もちろん自分も何も問題  
がないかというところいうこと  
では無いですが、そんな中で、  
「さてさて、これからどうやっ  
てみんな生きていきましょうか  
ね」って考え合っていたらいい  
のかなと、そんなことを考え  
たりもしますね。

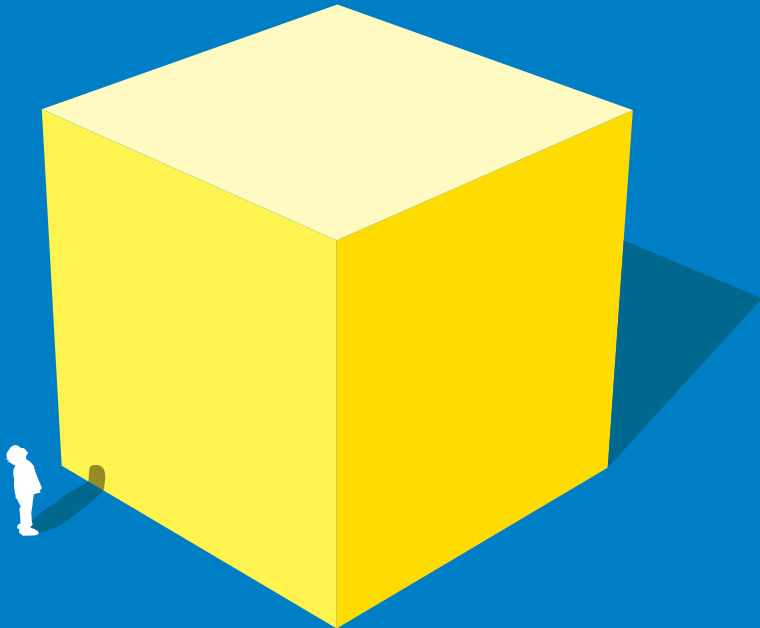


interview & photo & text 山田賢祐 (NPO法人ニコちゃんの会 勤続年数：5年)



## ケアコミュニティハウスプロジェクト 進行状況

care community house project



ケアコミュニティハウスプロ  
ジェクトでは、ケアコミュニ  
ティハウスの建物の実現  
に向けて進んでおります。  
ここでは、その内容の一部  
をご紹介します。いただきま  
す。みなさんからのご意見  
もお聞かせください。

ケアコミュニティハウスプロジェクトとは

ニコちゃんの核と  
なる想いである  
「どんなに重い病  
気や障がいがあっ  
ても心豊かに人生  
を生き抜く」こと  
を叶えるため、  
様々な活動の拠点  
としての場所を創  
るプロジェクトで  
す。  
医療ニーズの高い  
病気や障がいのある  
人とその家族が  
地域で暮らすため  
の支援や制度が追  
いついていない現  
状があります。こ  
の現状において、  
彼らが自分らしく  
心豊かに暮らすた  
めには、多くの人  
のかかわりと制度  
と地域の理解が必  
要です。ケアコミュニ  
ティハウスプロ  
ジェクトはまさに  
その一端を担い、  
重い病気や障がい  
のある人と家族を  
支援し、さらに社  
会と繋がる大切な  
場となります。

## 特別な出来事

普段はできないこと。  
たまにある楽しいこと。

障がいのある人や家族にとって大事な出来事や、年間を通して行われる行事ごと、その他の様々な企画などを大切に、ワクワク・ドキドキするような刺激的な時間を創ります。

ハレ（非日常）

## ニコカフェ

地域と交流し  
社会とつながる。

ケアコミュニティハウスと地域を橋渡しする場として、人が交わり交流する機能を持たせます。通常はカフェとして憩いの場を提供し、イベントなどがある時は、会場としても利用できる多目的な空間にしたいと考えています。

## ケアアパート

ここがあなたの自宅

施設内の賃貸ルーム。大人になり親からの自立を望んだときの具体的な選択肢となります。また、発症後初めて退院する人にとっては、病院を離れて自宅での生活を始める前の自宅生活体験を行うことができる場にもなると考えています。

## トータルコーディネート

一生を通して寄り添う

産まれてからずっとかかわり、円滑な社会生活を送るために制度や社会資源全般の知識を提供するサポートと家庭単位での心のケアを行います。また、病気を知らされた時・子どもを亡くした時、家族に寄り添うなどのメンタルケアも行います。

## 診療所

障がいのある人や地域の安心を保つ

体調の変化をそばについているスタッフが感じ取り、医師に診てもらうことで体調の悪化を防ぎ、早期に治療することができます。また地域の方も利用できる診療所として機能します。

## ショートステイ

家族と離れて泊まれるもうひとつの家

自宅での過ごし方を大切に、安心して過ごせる「もうひとつの家」のような場。訪問ヘルパーとして自宅の様子を知っているスタッフも宿泊の際にかかわることができることを想定しています。

## 訪問看護・訪問ヘルパー

自宅での日常生活をサポートする

施設のスタッフが訪問のスタッフとして、家でもかかわりを持つことができ、在宅での様子と施設での様子の両面を把握することができるのだと考えています。

## デイアクティビティ

自分の役割、自分なりの「働き」

遊び・学び・創造・交流を主として、年齢に応じたかかわりを持ち、各々が挑戦したいことや、興味のあることをスタッフと一緒に見つけながら進めていきます。

ケ（日常）



ハレとケのある  
地域の縁側  
えんがわ

ケアコミュニティハウスでは、「ハレ」と「ケ」を大切にしたいと考えています。「ハレ」は、晴れ舞台の晴れ。つまり非日常の時間です。「ケ」は、その逆で日常の当たり前に流れる日常の時間を表します。ハレとケを充実したものにすることによって、心豊かな暮らしを実現できるのだと考えています。

ケは、日常の出来事。その人それぞれの普段の暮らしを指しています。重い病気や障がいがあっても安心して健康に過ごすことのできる体制をつくるのが大切であると考えています。現在行っている訪問ヘルパーや相談支援をより充実させ、それに加えて、「通う」・「泊まる」ことのできるように、医師や看護師などを配置し、より安全・安心な場とすることを想定しています。

このようにして、穏やかでもあり、刺激的でもある一連の暮らしの時間を創出し、重い病気や障がいのある人や家族の暮らしを総合的にサポートしていきたいと考えています。

この場が地域に開かれることで、障がいのあるなしに関わらず近くの学校の生徒さんたちやご近所さんなど多様な人が行き交い、様々な関係性が育まれるのだと思います。ケアコミュニティハウスはそのような、地域の縁側のような場になりたいと考えています。

# 目取小で目取大の コミュニケーションに出逢うラ!!!

# ニコゼミ1年間のふりかえりのページ

2016年7月から約1年間にわたり、障がいのある子どもとのコミュニケーション講座を開催してきました。本項では、この取り組みについてまとめてご紹介していきます。

## 鼻

のチューブからご飯を摂ったり、ゴホンツとできないので吸引器で唾液や痰を取ったり、表情がみえにくくてこちらの声が聞こえていないのかわからなかったり、こんな子どもに出逢ったことはあるでしょうか。ほとんど出逢うこともなければ、出逢ったとしてもどうコミュニケーションをとっていいかわからない、というのが本当のところかもしれません。

けれど彼らはこちらがしっかりと聞こえようとする発信しているし、伝えようとすれば感じています。指のかすかな動きやまばたきで発信される彼らのメッセージを受けとることはできたとき、おそらくメッセージの内容以上のことを知り、感じることを思います。この最小で最大のコミュニケーションに、少しでも多くの人が出逢うきっかけをつくりたいと思い、この講座ニコゼミを開講いたしました。

ニコゼミは、進めていく過程で、まさに人が人を呼び、繋がり、広がる現場となりました。また、障がいのある子どもとのかわりのみならず、「人とのコミュニケーションとは？」という問いが皆さんの方の中に生まれて、問われ続けているのではないかと思います。

## ニコゼミとは

重い障がいのある子どもと関わる機会の少ない人を対象に行ったコミュニケーション講座です。特別支援学校に見学に行く「セッション0」、様々な切り口から個性豊かな先生に学ぶ演習「セッション1」、重い障がいのある子どものおうちに行って遊ぶ実践「セッション2」、そして1年間の集大成の場「あそびくニコゼミあそび博覧会」という4つの学びの時間で成り立つ講座としました。



受講対象者 重い病気や障がいのある子どもにあまり関わったことのない人/非言語のコミュニケーションに関心のある人/医療、福祉の道を考えている、またはすでに携わっている人/表現に関心のある人

受講料 無料

参加者 29人(単発受講含む/見学含まず)

アドバイザー 大澤寅雄、黒木慶子、澤山頼子

主催・企画 : 認定NPO法人ニコちゃんの会

助成 : タケダ・ウェルビーイング・プログラム2015

協力 : 福岡市立南福岡特別支援学校、九州大学長津結一郎研究室、九州大学南博文研室 CLCworks、art space tetra

後援 : 福岡市、福岡市教育委員会、九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

デザイン : アートのいろいろ ずこう舎

## セッション0

福岡市立南福岡特別支援学校へ見学に行きました。ひとりひとり違う生徒の様子や開放的な校舎、広い廊下、オーダーメイドの車いす...はじめて行った特別支援学校にみんな興味津々でした。すぐには言葉にできない出逢いがたくさんあったのははじめ。

日時 2016年7月19日(火) 9:30~11:30  
参加者 9名



## セッション1

特別支援、あそび、身体、アート、テクノロジー、医療...様々な切り口から個性豊かな先生に学びました。身体を動かして、頭と心を動かして、受講生は知らない領域に飛び込んだ8か月間でした。

### セッション1-1 「子どもについて知る講座」

日時 2016年7月30日(土) 13:00~15:00  
会場 アートスペーステトラ  
講師 澤山頼子  
参加者 14名



### セッション1-2 「あそびの講座」

日時 2016年8月28日(日) 13:00~15:00  
会場 九州大学箱崎キャンパス  
講師 黒木慶子  
参加者 11名



### セッション1-3 「身体を介した交感の講座」

日時 2016年9月22日(木) 10:00~12:00  
会場 ふくふくプラザ5F 軽運動室  
参加者 15名(見学4名)  
講師 岩下徹



### セッション1-4 「視点をずらす思考の講座」

日時 2016年12月11日(日) 13:00~15:00  
会場 アートスペーステトラ  
参加者 12名  
講師 鈴木淳



### セッション1-5 「コミュニケーションツールの講座」

日時 2017年1月14日(土) 13:00~15:00  
会場 九州大学大橋サテライト LUNETTE  
参加者 10名(見学7名)  
講師 福島勇



### セッション1-6 「医療的ケアを通しての心身を知る講座」

日時 2017年2月19日(日) 13:00~15:00  
会場 九州大学大橋サテライト LUNETTE  
参加者 11名  
講師 下川和洋



## セッション2

重い障がいのある子どもに“子ども先生”になってもらい、おうちに遊びに行ってきました!一緒に遊ぶ中で、たくさんの気づきや揺らぎ、そして楽しい・うれしいと感じられた大きな学びの時間でした。1日で子ども先生の動画を見てあそびを考える作戦会議をして、そのままおうちに行き遊び、帰ってから反省会をするというスバルタ学習です。

### セッション2-1 「あやねちゃん、あーそーぼ!」

日時 2016年9月4日(日) 13:30~17:30  
参加者 3名(企画スタッフ2名・アドバイザー1名と計6名で訪問)  
子ども先生 田邊彩音



### セッション2-2 「くるみちゃん、あーそーぼ!」

日時 2016年12月10日(土) 12:30~17:00  
参加者 3名(企画スタッフ2名と計5名で訪問)  
子ども先生 澤津来実



### セッション2-3 「たかくん、あーそーぼ!」

日時 2017年3月4日(土) 11:30~16:30  
参加者 3名(1名体調不良により作戦会議途中で退出/企画スタッフ2名・アドバイザー1名と計5名で訪問)  
子ども先生 大串貴俊



### セッション2-4 「くりやくん、あーそーぼ!」

日時 2017年4月2日(日) 11:30~16:30  
参加者 3名(企画スタッフ2名・アドバイザー1名と計6名で訪問)  
子ども先生 原クリヤ

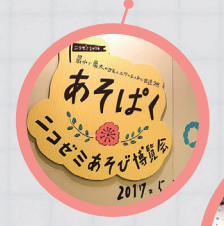


## セッション3

### あそびく-ニコゼミあそび博覧会-

セッション1・2での気づきや関係性などをもとに、受講生とともに空間をつくり、一般の方を対象として「あそび」をテーマとしたイベントを開催しました。受講生にとってニコゼミの集大成の場、来場者にとって追体験の場となりました。

日時 2017年5月7日(日) 10:00~16:00  
場所 アクロス福岡2F 交流ギャラリー (福岡市中央区天神1-1-1)  
入場料 無料  
対象者 重い病気や障がいのある子どもや当法人の取組みに関心のある人。広く一般の方。  
来場者数 約200名



# 「すごい演劇」

## の変遷

身体的にバラエティあふれる  
ひとたちの演劇公演



### 2

014年のワークショップをかわきりに

すごい演劇は本格始動を始めた。2015年に福岡公演。2016年には横浜、大阪公演。2017年には奈良県から招聘され「鹿の劇場」で公演し、その後の福岡凱旋公演と駆け抜けてまいりました。

作品の創作からツアー公演に至るまで、キャストやスタッフにとって大きな経験と成長につながる時間でした。まだまだ課題も多く試行錯誤の部分もありますが、その時々一杯を尽くして今後も「すごい演劇」を産み出していけるよう一丸となって切磋琢磨してまいります。

### すごい演劇のつくり方

原作をモチーフに、俳優が創作した寸劇やダンスなどのシーンとテキストを織り交ぜて原構成して作られていきます。大切なのは舞台上で活躍できる身体と表現を磨くこと。常に身体訓練を欠かさず、本当の声と体に向き合う作業を重ねていきます。身体的にバラエティあふれる人たちは、バラエティあふれるが故の不自

さや葛藤を身体に蓄えており、それが思いもよらないエネルギーとして表現されていくのです。そこに少しの妥協もありません。すごい演劇を作るために演出家も俳優もスタッフも同じベクトルの中、切磋琢磨して初めてすごい演劇は創られるのです。

2016 7.23~24 ツアー公演における俳優オーディション	2015 2.27~3.1 身体に障がいのある人のための俳優講座#03	2014 9.26~28 10.3~5 身体に障がいのある人のための俳優講座#02	2014 6.11~13 身体に障がいのある人のための俳優講座#01
---------------------------------------	---	--	--

### ご観劇いただいた皆様のコエ

来場者のアンケートより

障がい者の演劇であるとは全く感じず、高い意識をもった芸術集団の作品だと感じました。

言語、非言語、伝わるものは伝わるということでしょうか。とても楽しくというか、芝居という表現ってこんな感じだったんだと感じました。

すべてにおいて、私の想像を絶する表現や内容でした。感情の整理がつかないのが率直な感想です。

楽しく見せていただきました。バラエティあふれるひとたち、素晴らしいかったです。

表現の極みを観ました。私は日常あんなにも表現しながら生きているのかと反省とともに恥ずかしくなります。

「生きる」「生きようとする」エネルギーはやっぱり迫力があると思いました。里村さんや廣田さんの不自由かもしれないけど、不自由だからこそ、そうでないときない表現をみせていただき、変な言い方だけどもっちゃかっこいいと思いました。

**B**UNNAは、身体に障がいのある俳優講座から本格的に動き始めました。1年目は福岡公演、2年目は他県での公演を実現。そして、現在は、次回作に向けて動き出しています。すでに7月に新たな俳優と出会うべく、俳優講座を実施いたしました。来年度は「走れメロス」を題材に、新たな「すごい演劇」を皆様にお届けできるよう、一丸となって頑張っておりますのでご期待ください。公演予定は来年度です。ぜひお見逃しなく！



私たちは表面的なことに目をとられ、大事な分かり合いを放棄してしまっている。お互い心の中をのぞきあって理解し合いたいものだ。

全身から伝える気持ち、全身で受け止めました。素晴らしい。

男性の役者達の存在感、彼らの表現エネルギーを強く感じました。

それぞれ身体的な違いはあってもそれを忘れるような一体感のある空間だったと感じました。うまく言葉にできませんが感動しました。

とても素晴らしく感動しました。ハンディのある方々も普通に一緒に演劇できるのですね。

出演者全員のほとばしるエネルギーを感じられる素晴らしいお芝居でした。

コミュニケーションの難しさをこれほどまでに複雑な想いで受け止めたのは初めてです。



# たかしとオーロラいくっ隊！

たかしさんという男性と彼の夢であるオーロラを見に行く、という企画。重度の障がいがあり、医療的なサポートも濃厚な状態で、長時間の飛行機、緊急時の海外での対応など乗り越えることができるのか？課題はまだ残っていますが、この企画に取り組むことで多くの方に「できること」をご提示できればと思います。

## 彼

は72歳のお母さんと二人暮らし。食事はイロウといって胃に穴を開けてチューブから必要な栄養分を注入するといったスタイル。寝返り、トイレといった、そのほかの生活はすべての事に介助が必要な状況です。コミュニケーションの手段は文字盤を使うか、それが難しい時は手を握ることで返事をするといったものです。彼は数年前から「オーロラを見に行きたい」とよく言っていました。2016年冬には彼の病状は進行し、唾液をうまく飲み込む事ができない状態になってしまったため、誤嚥性肺炎（気管に痰や食品などの異物が入って引き起こされる肺炎）を起こすように

なり、それによる入院を余儀なくされるようになりました。彼の病状は進行性の難病。これを止める手立ては今の医学には残念ながらありません。

そんな中、これからの彼の人生について、周囲の人たちと彼と話し合う機会を持ったときの事です。彼は以前から『人工呼吸器は使わない』と言う意思を表明していました。周囲の人たちは、その気持ちを尊重しながらも、何とか今を楽に生きてほしいという願いから、肺炎を防ぐ事のできる手術を受けることを進めました。彼の答えは「NO」。もちろんこの先人工呼吸器をつけることも「NO」。「今のままで、自然のままで、自分

の人生を全うしたい。本当はイロウもいやだった。」と話しました。彼もみんなも、一緒に泣きました。話し合いの帰り際、彼は必死にニコちゃんの会の森山を呼び止めていました。彼の話を文字盤で聞くと「オーロラ」でした。普段中々しゃかりあけることが難しい目で、一生懸命に森山を見つめて、彼は訴えていました。

その帰り道、森山は「オーロラを見に行こう」と提案し、それに賛同したスタッフで「たかしとオーロラいくっ隊！」が発足しました。そして、いつ叶うかわからないけど一緒に行くことを目指して、毎月積み立てをしてくれる仲間を募りました。

さらに、この隊の結成によって、彼の心に変化が生まれました。誤嚥性肺炎を引き起こさないための手術を受ける事にしたのです。彼なりのオーロラを観るための努力だそうです。このようにしてこのプロジェクトは始まりました。現在隊員はたかし隊長を含め9人。彼のケアができる人（彼のケアには24時間常に2人が必要）や、英語が堪能な人、それにお母さん。積立を始めて一年が過ぎ、手術後の体調も安定してきた2017年3月、遂に「たかしとオーロラいくっ隊！」は実現に向けて動き出しました。

## 企画開始からの流れ

- 2017/3/29 第1回ミーティング
- 2017/6/3 大阪へ飛行機試験旅行
- 2017/6/6 第2回ミーティング
- 2017/6/13 渡航日、同行スタッフ決定
- 2017/6/29 パスポート取得
- ：
- 2018/2/6～15 出発予定日
- 日本→アイスランド→イギリス→日本



# ジギョウイチラン

## 平成28年度（第5期）事業一覧

2016	4/29	よかプロジェクト	オトナアソビ#01 せっかくだから即興演奏 【keywords】 坂上亜弥氏 (no black ballerina) / 演奏 / 朗読
	6/1~5/31	啓発	ニコゼミ 2016 【keywords】 タケダ・ウエルビーイング・プログラム2015
	6/8	よかプロジェクト	弾丸！湯けむり鹿児島日帰り旅 【keywords】 ふみさん / 鹿児島
	6/20	調査・研究	認定 NPO 法人 NEXTEP 【keywords】 認定NPO法人NEXTEP
	6/22	啓発	九州産業大学講義 【keywords】 森千鶴子氏 (九州産業大学非常勤講師・フリー記者) / 九州産業大学 / ニコゼミ紹介
	7/14	啓発	筑紫女学園大学講義 【keywords】 森千鶴子氏 (筑紫女学園大学非常勤講師・フリー記者) / 筑紫女学園大学 / ニコゼミ紹介
	7/21	啓発	医療福祉専門学校緑生館講義 【keywords】 医療福祉専門学校緑生館 / 宮本聡氏 (九州大学大学院人間環境学府博士後期課程)
	7/30	よかプロジェクト	ニコファミ 1 【keywords】 ニコちゃんの会事務所
	8/8	啓発	芸術と医療・福祉のしあわせな関係づくりフォーラム 【keywords】 アートサポートふくおか / アクロス福岡 / 日本アートマネジメント学会九州部会
	8/27	よかプロジェクト	人生初！プール 【keywords】 たいし君 / プール
	9/26	すっごい演劇アートプロジェクト	少しずつ自由になるために #07 【keywords】 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) / 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) / 福岡市立今津特別支援学校
	10/1~2 10/8~9	すっごい演劇アートプロジェクト	身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 BUNNA 横浜・大阪公演 【keywords】 日本財団「歯の妖精 TOOTH FAIRY」 / 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / 横浜にざわい座のげシャレー / 一心寺シアター倶楽
	10/18	啓発	アートマネジメントセミナーはざまのまなざし塾「福岡のアートと社会」 【keywords】 福岡市芸術文化財団
	11/7~8	調査・研究	アートミーツケア学会 2016 年度大会 【keywords】 アートミーツケア学会 / 札幌市立大学 / 宮本聡氏 (九州大学大学院人間環境学府博士後期課程)
	12/17~18	よかプロジェクト	ニコサンタ 2016 【keywords】 福岡市近郊
	12/17	啓発	県民講座 2016 第 6 回 【keywords】 福岡県人啓発センター / 春日クローバーブラザ
	12/18	よかプロジェクト	ニコファミ 2 【keywords】 ニコちゃんの会事務所
	12/19	受賞	平成 28 年度ふくおか共助社会づくり表彰 【keywords】 福岡県 / 平成 28 年度ふくおか共助社会づくり
2017	2/2	啓発	福岡県有識者会議 【keywords】 福岡県庁
	2/5	啓発	福岡市立今津特別支援学校校内職員人権研修「自立について」 【keywords】 福岡市立今津特別支援学校
	2/5, 2/16	すっごい演劇アートプロジェクト	身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 BUNNA 奈良・福岡公演 【keywords】 財団法人たんぼの家 / ならまちセンター / 奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA 2016-2017 / 長津結一郎氏 (九州大学大学院芸術工学研究院助教) / 九州大学大橋キャンパス多次元実験棟ホール
	2/12	啓発	スペシャルキッズサポーターズの集い in 神戸 【keywords】 スペシャルキッズサポーターズ倶楽部 こどもの未来 / 神戸大学医学部附属病院神緑会館
	2/15	啓発	共同カフェ 【keywords】 福岡市市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課 / あずみん
	3/29	よかプロジェクト	たかしとオーロラいくっ隊 第 1 回ミーティング 【keywords】 たかしさん / オーロラ

## よかプロジェクト

### 2016 6/8 弾丸！湯けむり鹿児島日帰り旅

【keywords】 ふみさん / 鹿児島



新幹線で福岡から鹿児島まで日帰り旅行に行くお手伝いをさせていただきました。鹿児島での滞在時間はなんとたったの2時間。それでもとても濃密な楽しい時間でした。

### 2016 8/27 人生初！プール

【keywords】 たいし君 / プール



1歳で病院を退院したたいし君が、初めてプールに行くお手伝いをさせていただきました。水の音や冷たい水などたくさんのお手伝いをさせていただきました。水の音を肌で感じる事ができたのではないかと思います。

### 2016 12/18 ニコファミ2

【keywords】 ニコちゃんの会事務所



ニコファミのお母さんたち企画のクリスマス会です。ニコチャンメンバーも一緒に楽しい時間を過ごさせてもらいました。

### 2016 4/29 オトナアンビ #01 せっかくだから即興演奏

【keywords】 坂上亜弥氏 (no black ballerina) / 演奏 / 朗読



ヘルパーとしてかわらせていただいている方のお宅で即興演奏を企画させていただきました。人工呼吸器などのその方ならではの生活音と演奏や詩の朗読が入り交じる時間となりました。

### 2016 7/30 ニコファミ1

【keywords】 ニコちゃんの会事務所



障がいのある子や家族たちが集まる井戸端会議の場をセッティングさせていただきました。この企画は昨年の nicochanism03 のトークセッションでも特集させていただきました。

### 2016 12/17,18 ニコサンタ2016

【keywords】 福岡市近郊



毎年クリスマスに行われているニコサンタ。福祉サービスでかわらせていただいているお子様を中心にサンタやトナカイがお伺いさせていただきます。

### 2017 3/29 たかしとオーロラいくっ隊！ 第1回ミーティング

【keywords】 たかしさん / オーロラ



オーロラを見に行くための1回目のミーティングです。実現に向けて大阪への試験旅行や日程、スタッフの確保などの様々な作戦がたてられました。

## すごい演劇アートプロジェクト

### 2016 10/1~2 10/8~9 身体的にバリエティあふれるひとたちの演劇公演BUNNA 横浜・大阪公演

【keywords】 日本財団「歯の妖精 TOOTH FAIRY」/ 倉品淳子氏 (劇団山の事情情社) 横浜にぎわい座のげシャレ / 一心寺シアター倶楽



2015年のBUNNAから一部キャストが新しくなり、内容も変化を遂げたものとなりました。また、初の県外公演ということで、キャストや介助スタッフなどの大人数で遠征したという点でも有意義な経験となりました。改めてバリエティあふれるひとたちで創る演劇の困難さと魅力について考えさせられました。横浜は横浜にぎわい座、大阪は一心寺シアター倶楽にて全公演売切となりました。

### 2016 9/26 少しずつ自由になるために#07

【keywords】 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏子) 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) / 福岡市立今津特別支援学校



岩下徹氏による身体表現ワークショップ「少しずつ自由になるために」は、法人化以前から数えて7回目となりました。毎年特別支援学校などで多くの方を対象に実施させていただいております。

### 2017 2/16 身体的にバリエティあふれるひとたちの演劇公演BUNNA 福岡凱旋公演

【keywords】 九州大学大橋キャンパス多次元実験棟ホール 長津結一郎氏 (九州大学大学院芸術工学研究院助教)



当初は予定されていなかった福岡公演ですが、みなさまのお声をいただき、公演させていただくことになりました。公演後に演出倉品淳子氏、九州大学大学院芸術工学研究院助教長津結一郎氏、当法人代表理事森山淳子のトークセッションが行われました。

### 2017 2/5 身体的にバリエティあふれるひとたちの演劇公演BUNNA 奈良公演

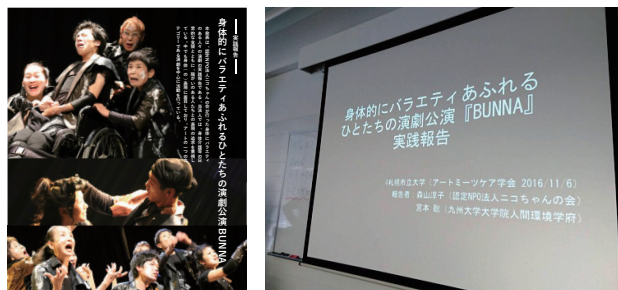
【keywords】 財団法人たんぼの家 / ならまちセンター 奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA 2016-2017



横浜・大阪公演後、奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA 2016-2017 オンステージプロジェクト「鹿の劇場」に招待いただきました。

## 調査・研究

2017  
11/7,8  
アートミーツケア学会2016年度大会  
【keywords】アートミーツケア学会 / 札幌市立大学  
宮本聡氏 (九州大学大学院人間環境学府博士後期課程)



「実践報告 身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演『BUNNA』」という題で学会発表させていただきました。アートとケアについて、①「バラエティあふれる俳優たちの持っている『身体』、『声』、経験、そして感情といったものを引き出す」②「現場での身体に障がいのある俳優へのケア」③「一見異なる2つの領域が、実践の中で結びつく」の3点でまとめたものとなりました。

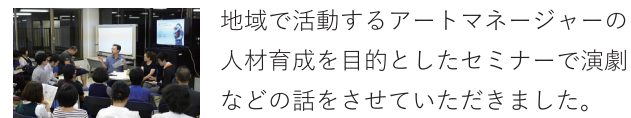
2016  
6/20  
認定NPO法人NEXTEP視察  
【keywords】認定NPO法人NEXTEP

### 認定NPO法人 NEXTEP

多くの出会いが自分を磨き、次の一歩の  
きっかけとなる

熊本県合志市にある認定NPO法人NEXTEPの運営する障害児通所支援事業所ボンボンにお邪魔しました。複合的に子どもたちを支援しており、ケアコミュニティハウスの参考にさせていただきたくなるような素敵な場でした。

2016  
10/18  
アートマネジメントセミナー  
はざまのまなざし塾「福岡のアートと社会」  
【keywords】福岡市芸術文化財団



地域で活動するアートマネージャーの人材育成を目的としたセミナーで演劇などの話をさせていただきました。

2016  
12/17  
県民講座2016第6回  
【keywords】福岡県人権啓発センター / 春日クロバークラザ

広く一般の方向けに障がいのある方の生活についてお話しさせていただきました

2017  
2/2  
福岡県有識者会議  
【keywords】福岡県庁

福岡共助社会づくり表彰者の代表として、有識者会議で取り組みを報告させていただきました。

2017  
2/5  
福岡市立今津特別支援学校校内職員人権研修  
「自立について」  
【keywords】福岡市立今津特別支援学校

福岡市立今津特別支援学校にて学校の先生方に人権についてのお話をさせていただきました。

2017  
2/12  
スペシャルキッズサポーターズの集い  
in 神戸  
【keywords】スペシャルキッズサポーターズ倶楽部 こどもの未来  
神戸大学医学部附属病院神緑会館



全国の病気や障がいのある子ども達のサポーターがそれぞれの活動や取り組みを紹介する集いに参加しました。

2017  
2/15  
共働カフェ  
【keywords】福岡市市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課  
あすみん

福岡のNPOが自分たちの工夫や悩みを開示してみんなで話し合う機会に参加しました。

## 啓発

2016  
6/1  
5/31  
ニコゼミ2016  
【keywords】タケダ・ウェルビーイング・プログラム2015



重い障がいのある子どもとかかわる機会の少ない人を対象にコミュニケーション講座を開催。2017年5月には展示イベントも行いました。

2016  
6/22  
九州産業大学講義  
【keywords】森千鶴子氏 (九州産業大学非常勤講師・フリー記者)  
九州産業大学 / ニコゼミ紹介



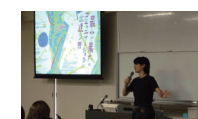
九州産業大学にてニコゼミを主とした活動のお話をさせていただきました。

2016  
7/14  
筑紫女学園大学講義  
【keywords】森千鶴子氏 (筑紫女学園大学非常勤講師・フリー記者)  
筑紫女学園大学 / ニコゼミ紹介



筑紫女学園大学にてニコゼミを主とした活動のお話をさせていただきました。

2016  
7/21  
医療福祉専門学校緑生館講義  
【keywords】医療福祉専門学校緑生館  
宮本聡氏 (九州大学大学院人間環境学府博士後期課程)



理学療法士を目指す学生さんの授業でNPOにおける活動についてのお話をさせていただきました。

2016  
8/8  
芸術と医療・福祉の  
しあわせな関係づくりフォーラム  
【keywords】アートサポートふくおか / アクロス福岡  
日本アートマネジメント学会九州部会



代表の森山が登壇し、障がいのある方と創る演劇などの話をさせていただきました。

## 受賞

2016  
12/19  
平成28年度ふくおか共助社会づくり表彰  
【keywords】福岡県 / 平成28年度ふくおか共助社会づくり



2012年から2015年まで福岡市と共働事業として、障がいのある方の在宅移行（病院から退院して自宅で生活するためのサポート）と在宅生活の充実を目的として行った「おうちで暮らそうプロジェクト」に対して、表彰を受けました。今後もより良い社会の充実に努めていきたいと思っています。

## 福祉サービス

訪問ヘルパー、相談支援など  
通年



訪問ヘルパー、相談支援を中心に介護サービスを実施しております。医療的ケアを含め、重度障がいのある方への対応などを少しずつではありますが、充実させております。写真は、福祉サービスでかかわらせていただいている方の卒業式の様子です。



2017/6/3 「たかしとオーロラいくっ隊 大阪へ飛行機試験旅行」 飛行機内にて

## ご支援のお願い

認定 NPO 法人を継続していくためには、これからも 100 名以上の方から、毎年おひとりにつき 1 年間の合計額が 3000 円以上のご寄付が必要となっております。

ケアコミュニティハウスプロジェクトをはじめとする当団体の活動にご賛同、協力いただき、あらゆる人が心豊かに暮らせる社会づくりのために是非お力添えくださいますようよろしくお願いいたします。

### ☑ クレジットカードでお支払いいただく場合

右の QR コードからクレジットカードでのお支払いの手続きに進むことができます。

上記の認定 NPO 法人の 100 名のアカウントのために必ず「領収書を発行する」を選んでいただき、氏名等をご記入ください。



### ☑ 携帯電話料金と一緒に お支払いいただく場合（ソフトバンクの方のみ）

ソフトバンクの携帯電話をご利用の方は、「かざして募金」というアプリを利用してお支払いいただくことができます。

上記の認定 NPO 法人の 100 名のアカウントのために必ず「領収書を発行する」を選んでいただき、氏名等をご記入ください。



### ☑ 銀行振り込みでお支払いいただく場合

- ① 福岡銀行（樋井川支店 普通口座 0259591 NPO 法人ニコちゃんの会 代表理事 森山淳子
- ② ゆうちょ銀行（記号 17470 番号 30874861） NPO 法人ニコちゃんの会 理事 森山淳子

### ☑ 現金でお支払いいただく場合

弊社スタッフに直接お申し出ください。

ホームページからもご寄付いただけます。ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ

認定 NPO 法人 ニコちゃんの会

〒 address 福岡市城南区樋井川6-37-8

☎ tel 092-863-5903 ✉ e-mail info@nicochan.jp

☎ fax 092-862-0597 🌐 web http://www.nicochan.jp

nicochanism

No.04

2017年8月15日発行

発行・デザイン 認定NPO法人ニコちゃんの会



designed by nicochan